

第4章 施策の展開

基本目標1 自己を高める学びの充実

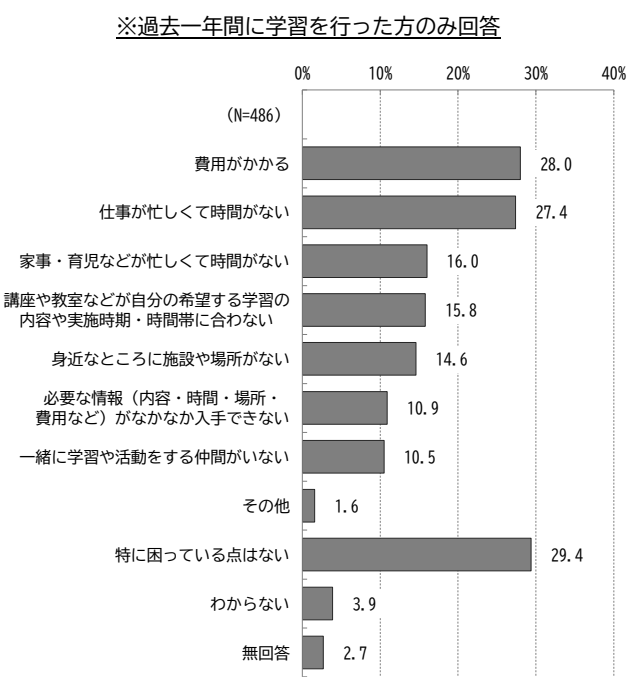


施策の方向1 多様な分野での学びの充実

少子高齢社会を迎える日本においては、人生100年時代の長い人生をより充実させるために、趣味的なものから専門的なものまで、個人のニーズに応じて取り組める幅広い学習の機会が求められています。

清須市の生涯学習に関するアンケート調査（令和6年）（以下、「市民アンケート調査」という。）の結果では、知識・教養・技術を高めるための学習意欲が高い一方で、仕事や家事、育児との両立が難しい状況や、講座や教室の内容や開催時間が希望に即していない状況がうかがえます。ライフステージやライフスタイルに応じた学習機会の充実を図ることが重要です。

問. 学習を行うにあたってお困りの点は何ですか。（複数回答）



出典：清須市の生涯学習に関するアンケート調査（令和6年）

【取組内容】

- あらゆる市民が生涯にわたり自らの興味や関心を追求し、学ぶ楽しさや充実感を実感できるよう、個々の特性や興味に応じた多様な学習の機会を提供し、市民一人ひとりが自分に合った学習を見つけて楽しめる環境を整えます。
- 子どもたちが学習を通じて自己実現を図り、地域や社会に貢献することで、地域社会の作り手となるよう、子どもの学習活動の推進に取り組みます。
- 子どもの読書活動を推進するために、家庭や関係機関等との連携・多様な事業展開を図ります。また、学校図書室のデータベース化や電子図書の導入等について、調査・研究し、読書環境の整備に努めます。
- 市民が学び続けられる環境を整えるため、講座の実施場所や開催時間の検討やオンラインを活用した学習機会の提供を行います。また、講座の申し込み方法の簡素化などにより、気軽に学習に参加できるよう取り組みます。

【取組例】

- ・生涯学習講座の開催
- ・ブックスタート事業
- ・講座予約システムの導入
- ・図書館におけるおはなし会やイベント等の実施
- ・サタデーキッズクラブの開催
- ・図書館資料の学校への配本事業

施策の方向2 スポーツ活動の活性化

市民がスポーツ活動に関心を持ち、自主的に取り組むことができるよう、スポーツ・レクリエーション活動の啓発と情報発信を行い、スポーツイベントの開催やスポーツ活動に関わる団体への支援を行うことにより、市民がスポーツ活動を行う機会を提供します。

【取組内容】

- 幅広い層の市民を対象にスポーツを始めるきっかけをつくるため、体育協会や総合型地域スポーツクラブなどと連携しスポーツイベント等を行い、スポーツの普及に向けた取組を推進します。
- ウォーキングを通じて、幅広い方に歴史・文化・自然環境といった清須市の魅力を体感できる場を提供するため、清須ウォークを開催します。
- スポーツを通じた幅広い層の市民の交流や、市民の健康づくりを促進するため、市民体育祭などを開催します。

【取組例】

- ・各地区市民体育祭及びスポーツフェスティバルの開催
- ・清須ウォークの開催



市民体育祭



清須ウォーク

施策の方向3 誰もが学べる仕組みづくり

高齢者や障がいのある人、外国人市民など、多様なバックグラウンドを持つ市民が、それぞれの興味や目標に合わせた学びを享受できるようにするとともに、学習を通じて積極的に社会との関わりを持ち、生きる喜びを実感できる仕組みづくりに取り組みます。

【取組内容】

- 多様なバックグラウンドを持つ市民一人ひとりが生きがいを感じながら学習に取り組むことができるよう、学習機会を提供します。
- 多様な支援体制を整えることで、学習に取り組む際のサポートを行います。

【取組例】

- ・高齢者や障がいのある人を対象とした各種教室・講座の開催(清須市民げんき大学など)
- ・市役所窓口におけるやさしい日本語対応
- ・図書館における読書バリアフリーの推進

施策の方向1 学びを通じたつながりの機会の創出

地域社会のつながりの希薄化は、家庭や地域での教育力の低下につながっています。

清須市の生涯学習関連団体へのヒアリング調査(令和6年)(以下、「団体ヒアリング調査」という。)によると、関連団体や事業、活動に関する情報を共有することで、団体同士の連携を促進する仕組みを望む声がありました。

学びを通じてあらゆる主体がつながることのできる機会を創出することで、地域全体の教育力を向上させ、より豊かで活気ある地域の実現を目指します。

【取組内容】

- 学習を通じて、知識や経験を共有し合いながら、相互に学び合う場を設けます。
- 生涯学習に関連する団体同士のネットワークを強化するため、団体間の交流会やワークショップを開催し、情報交換や共同学習の機会を創出します。団体同士の交流を深めることで、相互に刺激を受けながら活動の幅が広がるように支援します。
- 市内の「学び」という視点から事業を実施する関連部署との相互の連携に努め、各種団体の活動を支援します。

【取組例】

- ・外国語講座の実施
- ・生涯学習関連団体による活動報告会の実施

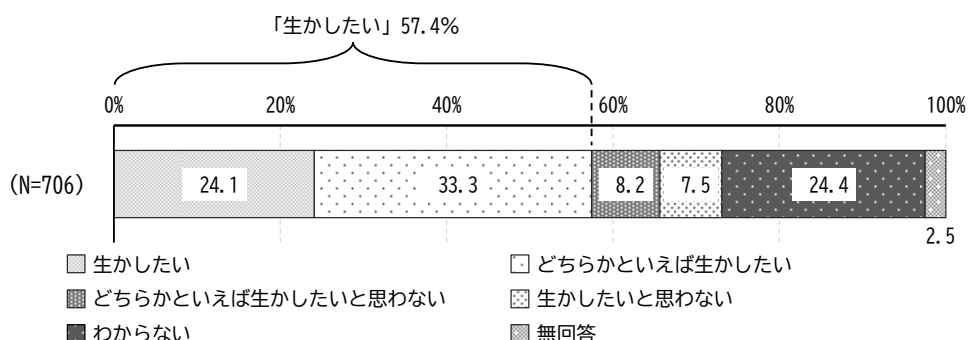
施策の方向2 学びが生かせる仕組みづくり

市ではこれまで、生涯学習人材バンクによる講師登録制度や、地域コーディネーター等研修会の開催により、生涯学習の担い手の発掘・育成を行ってきました。

市民アンケート調査の結果によると、およそ6割が学習を通じて身に付けた知識・技能や経験を自分以外のために生かしたいと回答していることから、学びを通じて得たものを他者に還元する意欲が高いことがうかがえます。

学習成果を自分以外の誰かに生かす経験は、学びの意義を深めることにつながります。自己の学びを役立てたい市民のために、学びが生かせる仕組みづくりに取り組みます。

問. 学習を通じて身に付けた知識・技能や経験を、自分以外のために生かしたいと思いますか。(単一回答)



出典：清須市の生涯学習に関するアンケート調査(令和6年)

【取組内容】

- 学習を通じて身に付けた知識や技能を生かせる場を見つけやすくするため、市内の生涯学習関連団体や地域のNPO団体とつながるための交流会の実施を検討します。
- 市内の団体の活動内容や目的、連絡先などをまとめたリストを作成し、ホームページ等を活用して、学びを生かしたい市民に対して参加可能な団体の情報を提供します。

【取組例】

- ・学習交流会の実施
- ・生涯学習関連団体の情報収集と情報提供

施策の方向3 生涯学習に関わる団体の支援

多様な学習の機会の確保には、地域全体の学びの環境を充実させ、より多くの市民が学びに参加しやすい状況をつくることが重要です。

団体ヒアリング調査によると、人材不足や会員の高齢化を深刻な問題として認識していることがうかがえます。

市内の生涯学習を支える団体が、持続可能な活動を続けるために、既存の活動を維持するための支援や、新たな担い手の発掘と育成が期待されています。

【取組内容】

- 団体が学習活動やイベントを行うための場所を提供し、活動がしやすくなるように支援します。
- 市民が団体の活動を実際に体験できるイベントを開催し、興味や関心を持ってもらえるきっかけを創出します。また、市内の学校や大学と連携し、学生にボランティアなどの機会を提供することで、若者の参加を促進します。
- 市民の自主的なスポーツ活動を推進するため、各種団体が行う活動や総合型地域スポーツクラブの運営に対する支援を行います。
- 子どもたちが地域とつながり、多様な学びや交流を通じて成長できるよう、地域学校協働活動の推進に取り組みます。

【取組例】

- ・関係団体の活動支援
- ・活動体験イベントの実施
- ・ジェンダーや家族の多様なあり方を尊重し、性別等による固定概念の解消を図る啓発活動

施策の方向1 文化芸術活動の推進

文化芸術は、人々の創造性を育み、豊かな人間を育てるとともに、人々の心のつながりを強め、心豊かで多様性と活力のある社会を形成するものです。

市ではこれまで、市民が身近に芸術にふれられる機会を提供するため、文化芸術の啓発を行ってきました。また、文化芸術活動の担い手を育成し、文化展や芸能発表会を開催することで、地域の芸術文化の振興と市民の参加意識の向上に取り組んできました。

市民が自らの表現や創造性を発揮する機会を充実させることで、個々の成長を促進し、地域の文化が豊かに育まれるようにします。

【取組内容】

- 市民が身近な場所で芸術にふれる機会を提供するため、趣向を凝らした企画展・特別展の実施により、魅力ある美術館づくりに取り組みます。
- 文化活動の成果の発表の場として文化展や芸能発表会を開催し、市民の参加を促進します。

【取組例】

- ・文化芸術の啓発と情報発信
- ・成果発表の機会の充実

施策の方向2 歴史や文化の継承

市ではこれまで、様々な文化財を保護し、後世に継承するため、市指定文化財への指定や、歴史資料展示室における多様な企画展示、団体への活動支援などを行ってきました。

市民アンケートでは、半数以上が清須市の歴史や文化に愛着を感じており、特に60代以上においてその傾向が強いことがうかがえます。

地域に受け継がれてきた歴史や文化を後世に継承するために、文化財の保護や保存、活用を推進します。

【取組内容】

- 市民の文化財保護に対する意識を高めるため、歴史資料の公開・展示をはじめとした、市民が歴史文化遺産にふれる機会を創出します。
- 文化財を後世に継承するために調査や情報収集を行い、適切な保護に努めます。
- 文化財の保存・継承のために市指定文化財の修理などに対する補助や文化財保存団体への支援を行います。

【取組例】

- ・地域の歴史・文化財保護の啓発と情報発信
- ・文化財に関する調査と情報収集
- ・文化財保存団体に対する支援

施策の方向3 地域資源を生かした学習機会の提供

歴史、文化、自然、産業など、地域が持つ独自の魅力や強みである地域資源を生かした学習機会の提供は、地域の活性化において重要な役割を果たします。

身近な地域資源を学習教材として活用し、さらに新たな地域の魅力を発見することで、生きた学びを実現し、ふるさとに愛着と誇りを持つ心を育みます。

【取組内容】

- 地域資源を活用したイベントを実施することで、地域の交流を促進し、認知度の向上を図ります。
- 学校と連携し、授業の一環として子どもが地域資源について学ぶ機会を創出します。

【取組例】

- ・あいち朝日遺跡ミュージアムと連携した取組の実施
- ・市内を流れる河川環境を活かした事業の実施
- ・校外学習・出前授業の実施等でのお囃子教室や山車・からくりの見学
- ・図書館での宮重大根の栽培・収穫体験



文化協会・芸術発表会



小学校出前授業・西六軒町紅塵車



文化財講座



庄内川カヌー教室

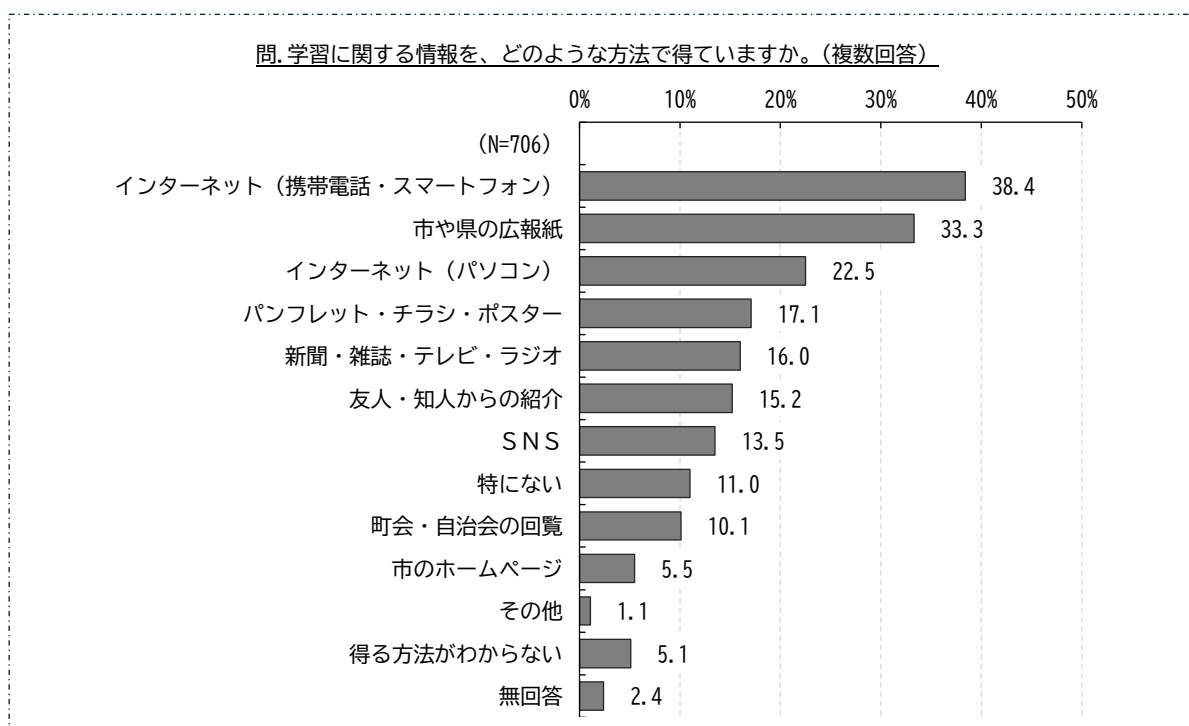
施策の方向1 広報・情報発信の充実

生涯学習における広報や情報発信の充実は、市民が自分に合った学びを見つけやすくなることに加え、学びの機会を多くの人に提供するために不可欠です。

市民アンケートによると、学習に関する情報を得る方法としては、インターネットや市や県の広報紙が主要な情報源として幅広く利用されています。また、年齢が上がるにつれて、紙媒体の利用傾向が高くなることが分かりました。

市ではこれまで、市民が学習に関する情報を簡単に入手することができるよう、紙媒体による案内チラシをはじめ、ホームページの充実や市公式SNSを活用し情報を発信してきました。

すべての市民が学習に関する情報を得られるように、年齢や利用者の特性に応じた情報発信の工夫が期待されています。



出典：清須市の生涯学習に関するアンケート調査（令和6年）

【取組内容】

- 行政や生涯学習関連団体が提供する学習情報を一元化し、様々な広報手段で学習情報の発信を行います。

【取組例】

- ・ホームページや広報紙等での周知

施策の方向2 生涯学習関連施設の適切な管理・運営

市ではこれまで、生涯学習施設やスポーツ施設の改修・修繕などを実施し、市民が様々な活動を行える環境を整備してきました。

一方で、市民アンケートによると、およそ半数が市の生涯学習関連施設を利用していないことが分かりました。また、団体ヒアリング調査においては、活動拠点の不足や施設の予約方法に困難を感じていることから、積極的な利用が進んでいない状況がうかがえます。

生涯学習関連施設が新たな学習活動を生み出す場所となり、また、活動の発展の拠点としての役割を果たすことを目指します。

【取組内容】

- 公共施設等総合管理計画に基づき、生涯学習関連施設の適切な管理・運営を行うとともに、市民のニーズの把握に努めます。
- より多くの交流や活動を行えるような環境づくりに取り組みます。

【取組例】

・公民館等の整備・管理維持改修

・学校体育施設の開放



春日公民館・大ホール



バレーボール教室

施策の方向3 推進体制の充実

多様な学習機会の確保には、様々な主体との連携が不可欠であることから、計画を積極的に進めるための推進体制の整備と進行管理体制の確立に取り組みます。

【取組内容】

- 生涯学習を推進するため、庁内の関連課や関連団体等と連携して、市民一人ひとりが自主的に学習活動に取り組むことができる環境の整備に努めます。
- 地域学校協働本部や学校運営協議会との連携を強化し、地域の資源を活かした教育活動を推進することで、子どもたちの学びや成長を支える環境を整えます。

【取組例】

・生涯学習を推進する体制の整備

・コミュニティスクールの整備

・民間企業との連携

・地域学校協働活動推進員の研修体制の整備

成果指標

本計画では、基本理念の実現に向けた進捗の把握を行うための成果指標を設定します。

成果指標	基準値 (令和6年)	中間目標値	目標値 (令和16年)	出典
基本目標1 自己を高める学びの充実				
この1年間で学習（学習、趣味、スポーツ、ボランティア等）を行った人の割合	68.9%	基準値から増加	中間目標値から増加	生涯学習に関するアンケート調査
生涯学習講座の参加者満足度	95.0%	基準値から増加	中間目標値から増加	生涯学習講座アンケート
「スポーツ・レクリエーションの充実」の満足度	22.3%	基準値から増加	中間目標値から増加	市民満足度調査
基本目標2 学びでつながる地域づくり				
学習を通じて身に付けた知識・技能や経験を、自分以外のために生かしたいと思う人の割合	57.4%	基準値から増加	中間目標値から増加	生涯学習に関するアンケート調査
学校支援ボランティア登録者数	261人	基準値から増加	中間目標値から増加	－
基本目標3 未来へ受け継ぐ歴史・文化・芸術				
清須市の歴史・文化に誇りや愛着、魅力を感じている人の割合	56.8%	基準値から増加	中間目標値から増加	生涯学習に関するアンケート調査
はるひ美術館の来館者数	17,820人※	19,000人	20,000人	－
歴史資料展示室の来場者数	14,112人※	16,000人	18,000人	－
基本目標4 学びを支える環境整備				
清須市立図書館の来館者数	182,185人※	190,000人	200,000人	－
総合型地域スポーツクラブの会員数	367人※	400人	450人	－

※令和5年度の数値



五条川の桜